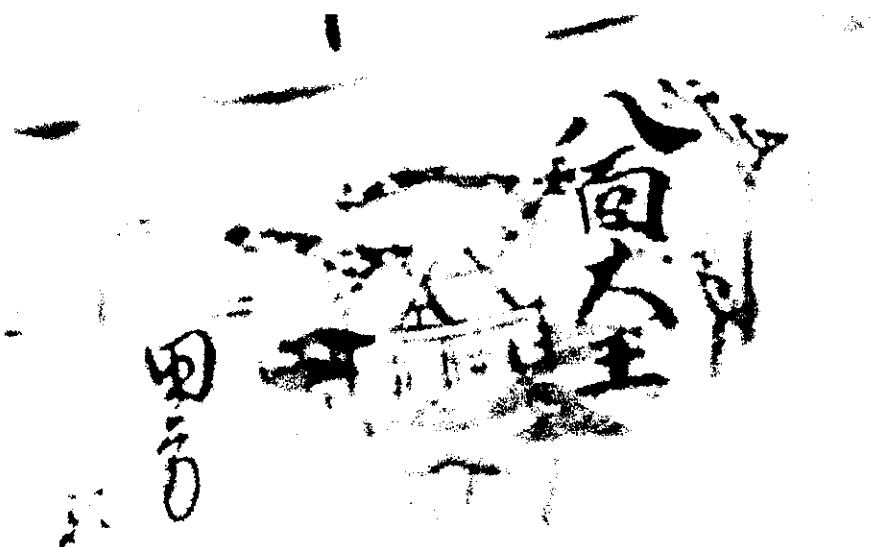


八面大王は鬼か神か？

八面大王は、有明山の麓、宮城不動尊の近く魏石鬼の窟に多くの手下とともに住み着き、空を飛び、雲を起し、雨を降らす不思議な力を持っていました。それらを使い里に下り乱暴の限りを尽くし、人々を苦しめていた鬼神として伝えられてきました。

このごろは、八面大王は恐ろしい鬼神ではなく、征服者田村麻呂から安曇野を守るために戦ったヒーローとしても語られています。

今回のと〜くサロンは、豊科郷土博物館長の原さんに、原点、江戸時代にさかのぼって、八面大王に迫っていただきます。



話し手： 原 明芳 さん（安曇野市豊科郷土博物館館長）

安曇野市の博物館にお世話になって、9年目になります。生まれも育ちも松本市ですが、安曇野の面白さを満喫しています。

特に今回お話をする「八面大王」には魅了されてしまいました。専門は、考古学、対象とする時代は縄文時代や古墳時代ではなく、あまりメジャーではない奈良・平安時代です。

日時：令和7年6月12日(木) 午後1時30分～3時30分

場所：穂高会館第3会議室（安曇野市穂高 5047）

参加費：500円（定員30名）

申し込み先：手塚 090-1883-6867（9:00～17:00）

又はこちらにアクセス→



と〜くサロンとは…

月に一回集まって、年齢も性別も経歴も関係なく井戸端会議感覚で地域の方のお話を聞きましょう、という会です。気楽に参加いただきたいのですが、資料の準備の関係でできるだけ予約をお願いしております。

次回は… 7月10日(木) 13:30～

「虫の眼で見た安曇野の自然」 那須野 雅好 さん
（安曇野オオルリシジミ保護対策会議代表）
（三郷昆虫クラブ世話人） です。

 安曇野案内人
倶楽部 Azumino
Guide Club